



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

大自在

〈こもれる家ども（風の中に包まれた家々） 大きなるも小さきも ひとつとして破れざるはなし〉。遭遇した天変地異を克明に記した「方丈記」。鴨長明は治承

4年（1180年）に京の都で発生した竜巻（長明は辻風と記述）の破壊力をこう記している▼2日に埼玉、千葉の両県を襲った竜巻も、すさまじかったようだ。屋根瓦が吹き飛び、木材がむき出しになった住宅が並ぶ。まさに「大きなるも小さきも」すべてが壊され、吹き飛ばされていた▼竜巻は過去、県内各地でも発生している。1992年10月、掛川市西部を襲った竜巻は、直後に取材に入った。「気がついたら頭上にトラックがあった」。恐怖の体験を振り返ってくれた住民の表情が記憶に残る▼竜巻は気象現象としてはかなり小さい。寿命も短く、発生予測は難しい。気象庁は竜巻をもたらすことが多い、回転する巨大積乱雲「スーパーセル」が発生したとみるが、「竜巻注意情報」を出したのは、突風が発生した直後だった▼掛川で聞いた話も、埼玉、千葉の被災住民の言葉も、直前の状況は「雷光に続く突然の雨と風」で一致する。空が突然、暗くなったり雷が鳴ったりといった竜巻の兆候があったら、すぐ頑丈な建物に逃げ込むべきだろう▼大地震や大火などが続いた世相をリアルに描写。日本初の「災害ルポライター」ともいうべき長明は、治承の竜巻を〈彼の地獄の業の風なりともかばかりにこそはとぞおぼゆる〉と伝える。一夜明けた被災地は、東日本大震災を思い起こさせる。一日も早い復旧を祈る。

2013.9.4

2013年9月4日朝刊 1面

① 「方丈記」の作者はだれでしょう。記事から書きましょう。

フリガナ
〔 〕

② 〈こもれる家ども 大きなるも小さきも ひとつとして破れざるはなし〉の現代語訳を書きましょう。

〔 〕

③ 「回転する巨大積乱雲」の名前は何か。

〔 〕

④ 竜巻の兆候^{ちようこう}は何ですか。

〔 〕

⑤ 竜巻の兆候があったら、どうしたら良いですか。

〔 〕

年 組 名前

(中学生 国語、総合)